



やぎさと

令和6年 1学期末号
三郷市立八木郷小学校
発行人 校長 平田 富美代
1年31名・2年34名・3年30名
4年40名・5年33名・6年37名
〈児童数 205名〉

1学期を振り返って

校長 平田 富美代

本日、71日間の1学期が終了しました。熱中症対策や感染症対策をしながらの1学期でしたが、様々な取組を通して子供たちのキラリ輝く姿を見ることができました。登下校やプールの見守り、運動会や環境活動への支援、サツマイモの苗植えから水やりなど様々な取組に保護者の皆様、地域の皆様からご支援ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

私は終業式に1学期キーワードにしていた「自信と元気」について、子供たちが成長したと感じることを2つ話しました。

まず成長したと感じたのは、子供たちが落ち着いて生活できたことです。1学期は始業式から5月、6月、7月と全校朝会を行いました。どの月も集まると自然と静かになりました。私が話し始めると、しっかり私の方を向いてうなずきながら聞いている子もいました。教室の学習でも、運動会が終わってから授業中の落ち着きが増し、どの学年も硬筆競書会を目指して集中して作品を仕上げることができました。また、自分の考えをタブレットに写して共有したり、友達の考えを聞いて納得したりして学び合う姿が見られました。私は、運動会で協力し合うことで学級がまとまってきたことも落ち着いて生活することに繋がっていると思います。学校行事へのがんばりや授業での学び合いによって、自分の力やよさが出せるようになり、自分に自信をもつ子が増えているように感じます。

次に成長したと感じたのは、いろんな運動に挑戦できたことです。1学期は、すこやかタイム、運動会、新体力テスト、プールを通して、一人一人が自分のめあてを達成させようと全力で挑戦する姿が見られました。子供たちは一つ一つの取組に対して、やる気・本気・根気を出して、自分の記録を伸ばし、元気になっていました。新体力テストでは、男女合わせて昨年度の県平均値を超える学年がボール投げで2つ、50m走で4つ増えました。体育の授業では、「分かる・関わる・たくさん動ける」楽しさを「できる・伸びる」楽しさに深めていく授業の展開を目指しています。7月11日には、5年生がティーボールの研究授業を行いました。試合でみんながたくさん打つことができるように取り組んだティーバッティングタイムでは、打ち方のコツを分かっている男の子が女の子に教え、上手に打てるようになっていました。ホームランを狙っている男の子も打つことを楽しみ、どの子も生き生きと取り組んでいました。めあてをもって運動することは「できる・伸びる」楽しさに繋がり、子供たちを元気にしていくように感じます。

さて、本日、担任から子供たちに通知表を手渡しました。学習と生活の所見については、昨年度に引き続き、個人面談にて伝えさせていただきましたので記載しておりません。学習と生活の評価とともに、お子様のがんばりをほめていただきたいと思います。また、これから何をがんばるとよいか夏休みや2学期の目標をお子様と話し合っただけでしたら幸いです。八木郷小の子供たちが、事故なく明るく元気に夏休みを過ごし、一段とたくましくなって8月27日の始業式を迎えることができますよう、保護者や地域の皆様の一層のご支援と見守りをお願い申し上げます。



～ 夏休み 家族で確認や約束等をしてみてはいかがでしょうか ～

◆ 小学生段階におけるスマートフォン等の所有者の急増・低年齢化が進んでいます。三郷市では、市内19校の代表者によるルール作成会議を行い、『小学生版・5つのケータイルール』が制定されています。

小学生版 5つのケータイルール

- 午後8時までに親に返そう
- 悪口は絶対に書きこまない
- 写真や動画はのせない
- ながらスマホはしない
- あぶない?と思ったら開かないで親に相談しよう

小学生版「5つのケータイルール」作成委員会
各小学校代表児童 三郷市小学校長 三郷市教育委員会

家族と、友達と、守る約束をしよう 小学生版「5つのケータイルール」

- 午後8時までに親に返そう
健康のために、使用は1時間以内とし、すいみんをしっかりとしましょう。
- 悪口は絶対に書きこまない
大事なことは相手の顔を見て話をしましょう。スマホ・ケータイははじめの道具ではありません。
- 写真や動画はのせない
たった一度、のせた写真からこわい事件にまきこまれることもあります。
- ながらスマホはしない
食事しながらスマホ、家族の時間がだいじなです。歩きながらスマホ、たいへん危険です。勉強しながらスマホ、集中できません。
- あぶない?と思ったら開かないで親に相談しよう
興味がある広告やサイトが目に入っても、すぐに開かないようにしましょう。

★ 埼玉県警察本部生活安全部少年課より情報提供がありました。

7月は

「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

こども家庭庁は、学校が夏休みに入る毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、青少年の非行・被害防止活動に取り組んでいます。少年の非行や犯罪被害の現状を知り、それを防ぐためになにをすべきかを考えてみましょう！



保護者の方へ

インターネットには危険もいっぱい!

SNSを通して多くのこども達が被害や犯罪被害にあっています

自由権被害 SNSで仲良くなった女友達と、写真のやりとりをしていたら...
下書きの写真を送ったら実は相手は知りたくて、送った写真をもとに脅迫されてしまった...!

SNSを利用した誘い出し SNSに「家出した」と書いて、優しい人が「家に来なよ」と声を掛けてくれた...
遊びに行った家で複数の男性達に監禁され、性被害にあってしまった...!

NG 様や裸に近い画像は絶対に送ってはいけません! SNS上では同年代や同性だと思ってもあなたをだますための嘘かもしれません。

NG 例え、相手が優しい言葉で近づいてきても、SNS等で知り合った人と安易に会うは危険です!

でも、今の時代、こども世代にもスマートフォンは普及しているし...こども達が安心してインターネットを使うにはどうしたらいいの?

フィルタリングの利用、コンテンツや利用時間を管理するペアレンタルコントロール機能を積極的に活用しましょう!

被害児童の9割がフィルタリング未使用!
フィルタリングにはこどもの年齢等に応じて利用時間を設定したり、アプリ利用を個別に許可・制限できる機能もあります。有害情報からこどもを守るため、必ずフィルタリングの設定を行いましょう。

ペアレンタルコントロールの活用!
保護者がこどものライフサイクルを見通して、その発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理すること(「ペアレンタルコントロール」)が大切です。こども家庭庁ではこどもが安全に安心してネットを利用できるように親子のルール作りやペアレンタルコントロール等が紹介されています。 ●こども家庭庁ホームページ <http://www.kodomo.go.jp>

こどもからこんな性被害の相談を 受けたら警察に連絡してください

こどもは、被害を打ち明けたことが無い場合もあります。日頃からコミュニケーションをとり、こどもの真実やSNSにいち早く気がつくことが大切です。

こどもが被害を打ち明けたときの対応

- まず、「話を聞いてあげよう」「あなたには悪くない」と伝えてください。そして、こどもの心に寄り添いながら話を聞いて頂き、話を聞きだしてください。
- 被害直後の場合は、すぐに警察などの相談機関へ連絡してください。(不審写真や動画を消去します。また、医療機関での感染症検査、証拠採取等が必要となる場合があります。)
- こどもに何言っても繰り返す時に相談してください。(こどもに聞きすぎることで記憶に影響してしまう場合があります。なるべく早く警察などの相談機関へ相談してください。)

大麻は危険! ダメ! 絶対! みんな知らない本当の怖さ...

近年、若者を中心とした大麻の乱用拡大が問題になっています。誤った情報をうみにして、軽い気持ちで大麻に手を出すことは大変危険です。

...これってウソ? ホント? 大麻のよくある勘違い...

- ウソです!** 大麻って身体に害はないし、肌にもいいし、薄せられるよ!
- 違います!** 大麻を少し試すだけなら、薬物依存症にはならないでしょ?
- ノー!** 大麻を使っても他人に害はないし、自己責任だからいいでしょ!

大麻は乱用すると時間や空間の感覚がゆがみ、無気力、情緒不安定、知能低下等が引き起こされ社会生活に适应できなくなることもあります。

大麻の使用をきっかけに、さらに強い刺激を求めて毒性の高い薬物に手を出す例が多いことから、大麻は「ゲートウェイドラッグ」と呼ばれています。

大麻は心身に悪影響を及ぼす以外にも、組織的な大麻栽培が暴力団組織の資金源となるなど、社会の安全に影響を与えます!

誘われてもきっぱり断る! その場から離れる! が大切です!

闇バイトはアルバイトではなく、「犯罪」です!

「簡単、高収入」という言葉に誘われ、アルバイト感覚で強盗や特殊詐欺等の犯罪に加担する少年が増えています。

インターネットやSNSで募集している「闇バイト」「裏バイト」には手を出さな!

「闇バイト」は切り捨て要員の犯罪実行役を募集するものです! 犯罪グループに個人情報を探られ、逃げることも出来なくなります!

荷物を受け取るだけの簡単な仕事だよ。そんなに簡単にはいかないし、不安なら1回だけやって様子を確かめようぜ! いいじゃん!

個人情報は身分証もあるんだからそんなに簡単に盗み取れないよ! 捕まってもそんなに罰金取られないし「受け子」は親い捨てのゴミだ!

詐欺グループ 少年

- ① SNSを見て軽い気持ちで応募
- ② 顔を合わせず現金の受け取りをアプリ等で指示
- ③ 特殊詐欺の受け子として逮捕!!

非行防止指導班「あおぞら」YouTube 動画配信中!

少年サポートセンターでは、こどもや保護者から少年問題に関する心理面の相談を面接・または電話で受け付けています。こどもの未来を守るため、トラブルや悩みは抱え込まず、まずは相談して下さい。

©埼玉県警察少年サポートセンター
保護者専用電話 048-965-4152
少年専用電話 048-961-1152
月～金(祝日を除く) 8:30～17:15